

## キャンプにプラスの楽しみ編

緊急事態宣言が解除されるも、いつの間にか今年の夏が終わったことにもものすごく残念な思いをしながら、開場されたキャンプ場に向かう。今日の天気は雨とわかってはいるが、2ヶ月も辛抱したので、今日は絶対にキャンプに行きます。シュラフも3シーズン用だと寒いかもしれんから冬用を忘れんと持って行きます。夏に買ったオイルランタンを初めて使う予定です。ガスランタンほど明るくないけど、見ていて時間がゆっくり流れる感じがして落ち着き明かり。ちょっと焚火をみとると近いかも。今回は「野呂山キャンプ場」に行こうかと思い、「野呂山ロッジ」の風呂が入れるか確認の電話をする。すると今日は風呂は営業していませんの返事。仕方ないのでいつもの「聖湖」に行先を変更して出発。行く途中に、「深入山いこいの村」の風呂が営業しているか確認のため寄り道する。ところが「本日貸し切り」の看板が出ているではないか。今日は風呂なしかと、あきらめキャンプ場入りした。日曜から来てる人がいるので、10組くらいテントが張ってあります。午後2時、テントとタープを設営して遅い昼ごはんになります。カップラーメンとパンで簡単に済ませて散歩。天気は今にも雨が降りそうな曇り空。たくさんあったテントはどこも撤収で忙しそうです。残ったのはキャンピングカー1台と自分を含めテントは3張。ひとりじゃないならそれでいい。さすがにこの山の中でひとりは獣に襲われそうでちょっと怖いので。

時間はちょっと早いですが、風呂が諦めきれなくて、ネットで「近くの風呂」と検索したら、最近できたんでしょうね、ものの4キロほどのところに「五右衛門風呂」発見！さっそく電話してやっとなるか確認すると「何時にお越しですか？」と問われ4時に行きますと返事を返した。少し早く到着すると、今から準備するのでと屋外のストーブの前に案内され、待ちます。え！屋間にストーブ？でも意外とこちいいんです、これが。住宅の廃材を薪に使って風呂沸かしてるみたい。しかもコロナ対策で1回ごとに水は抜き換えて沸かし直すそうです。五右衛門風呂の釜は3室ありました。敷板を沈めて入るのが懐かしいです。実家には以前ありましたが、もう30年くらい前になるでしょう。風呂から上がると風呂屋の大將の「外にドラム缶風呂があるけ～はいりんさいやー」の声に誘われて初めてのドラム缶風呂デビューしました。ドラム缶は屋外なので十分すぎる解放感！500円で五右衛門風呂にドラム缶に、いい体験ができました。外に女性のお客さんが来たみたい。なんの仕切板もない場所に設置してあるので、丸見えになるので急いで風呂から出た。

キャンプ場に返る途中で集中豪雨にあう。前がまったく見えないほどの土砂降りだった。テント戻ると、風呂に行く前に、すぐ隣にお母さんと未就学の女の子がテントの設営をしていたはずが、もうあきらめて帰っていました。あんだけ雨が降ったらテント建てるやめるのもしょうがないね。

辺りが薄暗くなってきたので焚火しながら例のランタンの登場！ここで事件発生。ランタンの芯の調整ツマミを逆に回して下のタンクの中に芯が全部落ちてしまった！取り出す道具は持ってないので今日は使えん。なんてこった！また使えん。いったいいつになったら使えるんじやろ。今日はLEDのライトで辛抱しよう。晩飯も食ったし、飲む酒なくなったし、雨のせいで山の気温はグッと下がってきたようなので寝ます。ランタンはまた来るときの楽しみにとっときます。

byあくたがわ

